

## 小国が生んだ長岡の功労者 旧長岡市内に野本互尊翁の遺蹟を訪ねる

小国文化フォーラム

小国生まれの長岡商人野本恭八郎（号 互尊翁）は天下国家が仰天した互尊思想を創始して、当時の長岡商人たちに新境地を与えた偉人。その志の原点に、長岡近代商工業の発達がある。明治維新後、日本近代化のひずみは物の価値までゆがませ、格差が広がっていた。そうした風潮の中で市民協働の長岡大合併の推進役や工業都市長岡の形成に尽力した人物。小国が生んだ長岡の偉人、そして教育家。互尊翁の資料は長岡市福住の「如是蔵博物館」に展示されている。如是蔵とは仏教で知恵の蔵という意味。坂之上 3 丁目の互尊文庫の庭に互尊翁の銅像が建っている。

### 野本恭八郎(のもと・きょうはちろう 1852～1936)

長岡市の商人。嘉永 5 年(1852)、上山藩領刈羽郡横沢村(現長岡市小国町横沢)の庄屋・山口家に生まれる。兄は実業家・政治家の山口権三郎。私塾三余堂、上山藩校明新館支館に学ぶ。20 歳の時、渡里町の商人野本家の養子となる。長岡町会副議長、新潟県会議員、六十九銀行取締役、長岡町学務委員などを歴任。大正 7 (1918)、長岡市に大正記念長岡市立互尊文庫を寄付、互尊思想を唱え、昭和 9 年(1934)に日本互尊社を創立した。昭和 11 年死去。「互尊翁」と呼ばれ、人びとの尊敬を集めた。

### 記

- 1、日時 令和元年 9 月 22 日 (日)
- 2、交通手段 小千谷観光バス 電話 0258-82-0244
- 3、日程  
8:30 小国支所駐車場集合  
9:30～10:00 長岡市立科学博物館(さいわいプラザ内)  
10:10～11:20 如是蔵博物館(福住) 0258-32-1489  
11:30～12:30 昼食 「春六」(台町 2 丁目) 35-4300  
以下互尊文庫前まで徒歩  
13:00～13:30 河井継之助記念館 徒歩にて  
13:40～14:10 山本五十六記念館 徒歩にて  
14:30～15:00 互尊文庫前 野本互尊胸像  
バス明治公園脇青果市場駐車場待機  
16:00 小国支所駐車場解散
- 3、参加費 20 人として一人 5000 円(昼食代・入館料含む)
- 4、申し込み締切 9 月 2 日(月)事務局高橋 実 電話・FAX95-2340

